

5分で読める!
理解する!
あらすじで学ぶ
家づくり

VOL.
49
New Normal
part2

新しい生活様式 “New Normal”が

これからの暮らしを変える! part②



新型コロナウイルス感染拡大を予防するため、政府の専門家会議が提言した「新しい生活様式」により、暮らし方や住まいの在り方に変化が起こっています。またウィズコロナ、アフターコロナに対応する住まい選びも大きく変わり、住宅メーカー各社でも“新しい生活様式「New Normal」”に対応した新提案が、様々なカタチで登場してきました。

新しい生活様式の 基本的な注意事項とは?

厚生労働省が推奨する実践例から、家づくりに関わる項目を挙げます。家に帰ったら、基本的な感染対策である手洗いやうがいをまず行なうこと。エアコンなどを使用しながら換気に気を配ること。ジム等に出掛けなくても自宅でストレッチやトレーニングが出来るスペースを確保し、体調を整えること。新しい働き方としてテレワークや

テレビ会議などに対応できる設備を自宅に整えること。また、できるだけ外出・外食を控えるために、キッチンやリビングなどゆとりある居室を設けること。新しく住まいづくりを行う際はこのような視点を取り入れることをお勧めします。



レジリエンス+ 健康な住まいづくり!

これまでのレジリエンス住宅とは、普段は快適に暮らせ、いざ地震や台風などの災害にあった場合でも生活を守り、かつこれまでの暮らしへの回復力も備えた住まいのことでした。コロナ禍ではそれに加えて、抗菌・抗ウイルスの対策もレジリエンスの一環と考えるようになってきました。具体的には太陽光発電システムや蓄電池はもちろん、製水器、防災瓦などを搭載したレジリエンス住宅にプラスして、これからは菌やウイルスなどに対して安全な生活ができる工夫や、家中の空気をきれいにするシステム等を搭載し、抗菌・抗ウイルス性能を持つ新しいレジリエンス住宅が主流になっています。



住宅メーカー各社も 住まいに新しい提案を採用!

住宅メーカー各社も、このような“新しい生活様式「New Normal」”に関するユーザーの希望を捉え、新しい価値観に対応した住まいづくりを提案しています。具体的には書斎や家事室を、ネット環境が整ったホームオフィスに変更。家にいる時間が長くなるため、光熱費の負担を太陽光発電で賄うHEMS(ホーム エネルギー マネジメント システム)に対応した住まいを推奨。また抗ウイルス対策として、抗菌仕様のクロスやフローリングを使用し、新型コロナウイルスだけではなくインフルエンザやノロウイルスにも強い、家族の健康を考えた設備仕様の提案など、多方面からのアプローチを行っています。

間取りの工夫で コロナ禍に対応する!



設備や仕様だけでなく間取りでも“新しい生活様式「New Normal」”に対応する住まいが求められています。例えば家の中を、外出から帰ったときのレッドゾーンと、毎日を安心安全に暮らせるグリーンゾーンに分けることで、各居室ごとの役割を明確にします。外から戻ったらレッドゾーンでウイルスや菌を落とし、手洗いやうがいをする。その後で安心して抗ウイルス、抗菌仕様で守られたグリーンゾーンに入るという動線プランなどが一例です。



ママとパパとワタシにやさしい展示場。
山陽新聞岡山住宅展示場



山陽新聞岡山住宅展示場の出展メーカーでは、新しい生活様式(New Normal)に対応した住まいをご提案しています。間取りプランのご提案も実施しています。ぜひ、各モデルハウスでご相談ください。